

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	3MF-2203
研究課題名	ICT 等を活用した家庭系食品ロス削減施策の発生抑制効果に関する研究
研究実施期間	2022（令和 4）年度～2024（令和 6）年度
研究代表機関名	京都府立大学
研究代表者名	山川 肇

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

家庭系食品ロス削減施策の発生抑制効果を定量化するため、ICT と情報活用ツールを活用した社会実験などを数多く実施し、今後の地域や諸団体のチャレンジに有用な知見が得られている。また、複数の自治体での環境政策の実施に活用されるなど社会実装に繋がる具体的な成果をあげている点は高く評価できる。さらに、食品ロス削減に関わる認知と意識・行動変容の生起を分析したことは有用な情報と考えられる。特に、家庭ごみ有料化、生ごみ分別収集が家庭の食品ロスに与える影響について明らかにした研究は新規性・独創性があり、今後の環境政策に大きく貢献できる可能性がある。今後は、研究成果をとりまとめて原著論文として公表を進めるとともに、有料化施策効果に関する具体的な提案をもとに、活用可能な背景情報の発信に期待する。